

令和4年度事業計画

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、国内でも3回目の予防接種が始まっています。国内外で経済活動が縮小した中、シルバー人材センターも厳しい状況になっております。さらに来年度10月より施行されますインボイス制度により更なる試練がシルバー人材センター事業を脅かしてきており、(公社)全国シルバー人材センター事業協会をはじめ、関係機関と連携しご支援・ご協力を仰ぎながら難局を乗り切っていかなければなりません。

その為の組織強化を図るため事務局体制の見直しや他センターとの人事交流を行い、情報の共有と事務の簡素化を図り、サービス向上に努めます。

当シルバー人材センターは、昭和57年10月に桜小路の旧川中保育所跡(現中央介護支援センター)にてスタートしまして今年で、設立40周年を迎えます。健康と生きがい・社会参加の設立趣旨を踏まえながら現在の社会情勢に合った新たな事業展開を推進して参ります。

2. 実施計画

(1) 就業開拓提供事業

コロナ禍でも就業開拓ができるよう、マスコミやSNSを通して、就業開拓を積極的に推進します。

また、県内シルバー人材センターで発足しました、みやざき女性部会「ひまわり」と連携して女性会員のニーズに合った就業開拓を推進します。

- ・ホームページやInstagram等を活用した就業開拓
- ・女性会員の希望が多い事務系軽作業職種への就業開拓

(2) 普及啓発事業

今年10月で設立40周年を迎えることを機に、シルバー人材センター事業の役割と意義を踏まえPRを展開します。

- ・前年度実施した「シルバーマルシェ」の反省を生かしてより充実した内容にし、シルバー人材センター事業活動のPR

- ・ 設立40周年の記念誌を作成し、各事業所等に配布
- ・ 会員以外の方も気軽に参加できる講習会等を開催し、シルバー人材センターへの入会を促進
- ・ ホームページから入力できる仮入会様式作成
- ・ 会員の果樹園や畑を利用した農園活動
- ・ 運動系等のサークル活動の設立

(3) 安全・適正就業推進事業

安全就業の徹底のため、安全教育と事故防止の機材の購入を進め、事故ゼロを目指します。

- ・ 職群部会の開催、特に剪定、草刈り班との安全教育
- ・ 安全器具使用の徹底、安全作業着の統一化
- ・ 契約書や就業内容の確認を行い、適正就業であるかの再点検
- ・ 安全パトロールを実施し、危険箇所、危険就業がないか、安全対策が講じられているのか確認、指導の実施

(4) 職業紹介事業

臨時的、短期的な雇用による就業又は、その他の軽易な業務に係る就業を希望する高年齢退職者のために、職業紹介事業を推進します。

(5) 労働者派遣事業

幅広い就業ニーズに対応していくため、連合会と連携を図りながら労働者派遣事業に取り組みます。